

# 緊急帝王切開術を受けられる方へ

患者ID:                      病棟:                      主治医:                      担当医:

氏名:                      受持看護師:

	手術当日(手術後)	手術後1日目	手術後2日目	手術後3日目	手術後4日目	手術後5日目	手術後6日目	手術後7日目	退院
達成目標	心身ともに十分な休養がとれる。 子宮収縮が順調である。	痛みのコントロールができる。 術後の経過が順調である。 子宮収縮が順調である。 児と面会できる。	おむつ交換ができる。 授乳ができる。	児の世話ができるようになる。 沐浴方法がわかる。		沐浴が一人できる。			退院に向けて準備が整う。
検温	帰室時、1・2・3・6時間後 それ以後翌日6時まで4時間毎	4回	4回	3回	1回	1回	1回	1回	
排泄	尿道留置カテーテルから自然に尿が出ます。	動けるようになったら、尿道留置カテーテルを抜き、病棟内トイレまで歩行できます。 1日の尿量を確認するために、尿量測定を行って下さい。	尿量測定を続けて下さい。	15時で尿量測定は終了です。					
処方		診察後に子宮収縮剤が点滴から内服へ変わります。							
お薬説明	入院中に薬剤師が伺い、投与薬剤・服薬薬剤について説明します。お薬や飲み合わせなどわからないことがありましたら、何でもおたずねください。								
検査処置	手術後に酸素を使うことがあります。 看護師が1～4時間毎に伺い、検温と手術後の観察をします。	朝、採血と採尿があります。 医師の診察があります。 点滴は夜まであります。		朝、採血と採尿があります。	医師の診察があります。				「産後6日目健診」 朝、採血と採尿があります。 10時に体重測定をお願いします。 医師の診察があります。
食事	食事水分も摂ることはできません。 ベッドに寝たままでうがいとすることができません。	朝から水・お茶・スポーツドリンクが飲めます。 昼から流動食が始まります。	毎日、少しずつ食事が元に戻っていきます。		昼から通常の食事に戻ります。	通常の食事が出ます。 「出産御祝膳」 医師の許可があれば月・水・土曜日のいずれか1回夕食に出ます。			
安静度	ベッド上で寝て過ごします。 膝を立てたり寝返りをすることができます。 起き上がることはできません。	ベッド上で座ることから始めます。病棟内トイレまで歩行できます。最初は看護師が付き添います。赤ちゃんの面会は車椅子で、看護師が付き添います。	病棟内は制限はありません。赤ちゃんの面会や授乳に歩いて行くことができます。	制限はありません。					
清潔	看護師が洗面をお手伝いします。	看護師が体を拭くのをお手伝いします。	体を拭く蒸しタオルをお渡しします。 希望によりシャンプーをお手伝いします。		医師の診察後から、シャワー浴ができます。	シャワー浴ができます。			
沐浴				沐浴見学	沐浴実施				
授乳	助産師または看護師が、授乳時間に合わせてお乳のマッサージをします。	授乳時間に合わせて、3時間毎にお乳のマッサージをしましょう。赤ちゃんがお部屋に来て授乳をします。	10時から授乳室で授乳します。 授乳時間: 10時・13時・16時・19時・22時・1時・4時・7時		母児同室が始まります。 授乳は赤ちゃんが欲しがる時に行います(自律授乳)。				
説明	医師から手術の結果について説明があります。 赤ちゃんが生まれたら、ご家族の方は、赤ちゃんの入院の手続きをお願いします。(周産母子センタースタッフから、入院手続きの説明があります。)また、小児科医師から赤ちゃんの説明があります。ご家族の方は談話室でお待ちください。	排尿の必要性和外陰部消毒について説明をします。 お乳のマッサージ方法と授乳について説明をします。 出生証明書をお渡しします(出産日から14日以内に、市町村役場へ出して下さい)。 医師の記入が必要な書類などありましたら、平日日中に1階玄関ホールにある診断書受付までお出し下さい。	動けるようになれば、弾力ハイソックスを脱ぎます。 授乳室の使用方を説明します。 赤ちゃんのおむつ交換や抱っこの仕方について説明します。 分からないことがありましたら、何でもおたずね下さい。		母児同室について説明後、母児同室を開始します。 月・水・金曜日のいずれか午後調乳指導があります。 月・木曜日のいずれかにフットケアをうけることができます。 助産師または看護師から退院後の生活について説明があります。 医師から退院後の健診について説明があります。 退院日の沐浴はお家に帰ってから行います。 退院時には次回の外来受診日を確認して下さい。				